

# 令和3年10月19日亀岡市教育委員会会議録

1 開会 午前 9時00分

閉会 午前10時00分

2 出席委員

神先 宏彰 教育長  
江口 昌道 教育長職務代理者  
北村 真也 委員  
末永 礼子 委員  
出藏 裕子 委員  
福嶋 百合子 委員  
陀安 一郎 委員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

片山 久仁彦 教育部長  
久保 日出樹 次長兼総括指導主事  
亀井 鶴子 教育総務課長  
三宅 邦子 学校教育課長  
樋口 竜次 社会教育課長  
山崎 浩久 社会教育課人権教育担当課長  
岩崎 盛雄 歴史文化財課長  
桂 和裕 学校給食センター所長  
谷 仁志 図書館長  
谷口 正二 みらい教育リサーチセンター所長  
阿比留 紗綾 教育総務課総務係長

5 傍聴者

1名

6 議事の大要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

## （2）前回会議録の承認

令和3年9月21日に開催した定例会の会議録及び令和3年9月30日に開催した臨時会の会議録を承認した。

## （3）教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

### ◎亀岡市関係

- ・石田梅岩先生墓前祭が行われ参列した。
- ・市立中学校部活動全国・近畿大会入賞者の報告を受けた。
- ・秋の交通安全街頭啓発を加塚交差点で行った。
- ・市議会定例会9月議会が条例改正案や補正予算案を可決して休会した。
- ・9月議会での「亀岡市立中学校設置条例の一部を改正する条例」の可決を受けて臨時教育委員会を開催し、別院中学校の閉校に伴う「亀岡市教育委員会基本規則の一部を改正する規則」を承認した。
- ・学校規模適正化別院中学校ブロック協議会を開催し、学校区の変更や別院中学校閉校の条例改正等、経過を説明し今後の取組について協議した。
- ・市自治委員会議が開催され出席し、m y m i z u (マイミズ)チャレンジについてなど市から説明があった。教育部に関する事項はなかった。
- ・市道川関小林線交通安全対策工事竣工及び時速30キロ規制開始感謝式が千代川町自治会主催で行われ出席した。その後、登校指導を行った。
- ・校園長会議を開催し、他市で起こったタブレット端末を使用したいじめが起因とされる児童の自殺に関わることなど対応を指示した。第2部では魅力と特色ある学校づくり推進事業に今年度取組んでいる保津小学校と詳徳中学校の中間報告会を行った。
- ・花づくりコンクール授賞式が行われ出席した。市長賞を詳徳中学校、教育長賞を大井こども園・千代川こども園・大成中学校に授与した。
- ・環境及び教育事業連携に関する協定による取組報告会が行われ、目的と体制の確認を行った。人型ロボットPepperの活用報告も受けた。
- ・口丹波私立幼稚園PTA連合会役員こん談会が行われ、市長とともに出席し、こん談した。
- ・住民参加型の防災フェスタがサンガスタジアムby KYOCERAで開催され参加した。防災講演会と亀岡中学校吹奏楽部のコンサート中に地震が起こったなどの想定で避難訓練が行われた。

### ◎国・府等の関係

- ・南丹地区教育委員会連絡協議会秋期研修会において、内藤ジョアンについての講義と八木西小学校児童が出演したオペラ「内藤ジョアン」を鑑賞した。

- ・口丹波中学校駅伝競走大会が丹波自然運動公園のトラックにおいて記録会形式で行われた。6位までの入賞校が京都府大会の出場権を得た。
- ・近畿都市教育長協議会第2回役員会を大阪市で開催し、令和4年度奈良県で開催する総会・研究協議会について協議した。

○教育長からの報告を受け、委員から次の意見・質問があった。

- 江口職務代理者 時速30キロ規制をしているところは市内で他にもあるのか。あるならどこでされているのか。
- 学校教育課長 安詳小学校、亀岡小学校、詳徳小学校の校区内にも30キロ規制しているところがある。
- 江口職務代理者 通学路で危険な場所は、このような取組をぜひ進めていただきたい。
- 末永委員 環境及び教育事業連携のPepperを使った取組報告で、Pepperの活用が特別支援教育の中で有効な側面があることがわかつてきたとの報告は興味深い。特性のある子どもたちの場合、ICTの活用が有効であると聞いている。Pepperについては通常学級の中の活用だけでなく、子どもたちの潜在能力が引き出せる活用方法を特別支援学級の中でも実践を積んで研究していただけたらと思う。
- 教育長 環境学習だけでなく、ラジオ体操やダンス、英会話など活用方法はある。必要性があるなら2台に限らず導入していきたいと思う。
- 陀安委員 SDGs関係で取組の報告はあったのか。
- 教育次長 Pepperが置かれている学校での活用報告であったが、先ほども言われたようにラジオ体操と一緒にしたり、保津川を中心とした環境学習をPepperのプログラムを通して学習したり、あいさつ運動に活用しているという報告であった。
- 教育長 何がSDGsと関連していくのかというところが明確ではない。今後どう進めていくかは課題であるという報告であった。

#### (4) 報告事項

- ① 南丹教育委員会連絡協議会秋期研修会の報告について
- ② 学校規模適正化について
- ③ 学校女子トイレへの生理用ナプキンの設置について
- ④ 第36回特別展チラシについて
- ⑤ 令和3年度11月教職員研修講座のお知らせについて
- ⑥ かめおか 子ども霧の芸術祭について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

＜南丹教育委員会連絡協議会秋期研修会の報告について＞

- 江口職務代理者 約2年ぶりに南丹教育局長や他市町の教育委員にお会いした。京都府教委の「心を育む教育」を目指していくという取組報告があった。その後、八木西小学校の子どもたちも出演したオペラを鑑賞した。公演後の記念撮影で子どもたちの笑顔が非常にキラキラしていたのが印象的であった。地元の後援、協賛があつて地元で取組まれたオペラの中に小学生が参加していることは亀岡市としても見習いたいと感じた研修であった。
- 末永委員 最初に内藤ジョアンに関わる説明が学芸員からあり、その素地があつて鑑賞に望めたことは良かった。昨年の大河ドラマのことも思い出しながら聴講した。八木西小学校の子どもたちが参加したオペラは、単に社会科や総合の勉強だけでなく、作品に参加し創りあげる中で得るものが多くあったのではないかと、子どもたちの笑顔をみて感じた。地域を見る目をもっと養わなければとも感じた良い研修であった。
- 出藏委員 1年8ヶ月ぶりにオンラインでなくリアルな研修であった。芸術を身近に感じて触れ合える場があることが素晴らしいと感じた。子どもたちが舞台の上でソロでも堂々と発表していた。2回公演で出演メンバーを替えて、多くの子どもたちが参加できていることも良い取組だと感じた。
- 福嶋委員 内藤ジョアンを身近に感じるところに住んでいたので、どんな風に表現されるのか興味を持って拝見した。子どもたちが多くの人の中に溶け込んで創り上げていく体験を得たことは、地元に対する愛着が湧いたり、歴史的なものに対する興味も湧いてくるなど、今後の人生において大きな体験であったと思う。音響設備が整った文化会館があることを羨ましいと思った。人間国宝の琵琶奏者の音色も素晴らしい、良い経験ができた研修であった。

＜学校規模適正化について＞

- 末永委員 別院中学校については、編入が決まってゴールではなくスタートだとあらためて感じた。既に南桑中学校との交流事業が計画され動きが出ていることや、具体的できめ細かなスケジュールが作成され、一歩一歩着実

に取組んでいくことが大切なことだと思う。これから説明会も予定されているが、随時、保護者や地域の方に丁寧に伝えながら、一緒に子どもたちを応援していく流れになっていければと思う。

教 育 長 今後は東別院町と西別院町が一緒に、また南桑中学校区の小中学校も一緒に子どもたちの教育環境を整えていく動きを作りたい。

#### ＜学校女子トイレへの生理用ナプキンの設置について＞

出 藏 委 員 コロナ禍で注目された生理の貧困の対応をいち早く検討し実施いただいた。教室からトイレに持っていくのが恥ずかしくて、1日中つけっぱなしで帰ってきたりすることもあると聞く。保護者として、PTAとしても衛生面でもよくないことや、突然なってしまった場合でも学校がサポートしてくれていること、恥ずかしいことではないことをしっかりと伝えていきたい。

教 育 長 貧困対策と謳われている中で、幾度か利用すると家庭の状況を周りの子どもたちは敏感に感じたり、悪気なく言ってしまうことがある。事前教育や生徒指導が必要であり、学校には指示をしている。

#### ＜かめおか 子ども霧の芸術祭について＞

福 嶋 委 員 魅力のある講座で楽しいワクワクする企画だと思う。先日、私立の学校で同様の取組を紹介されており、芸術家の美術の先生がいる私立だからできると言っていた。亀岡では公立の学校でできることを嬉しく楽しみに思う。

この取組は学年を限定するのか、各学校の裁量に任されるのか。

みらい教育リサーチ 各学校の裁量としている。

センター所長

福 嶋 委 員 子どもたちの感性がどのように花開くのか楽しみに見せていただきたい。

#### （5）閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上